

関高ニュースレター2018 No.15

保健講話

平成30年5月31日（木）

5月31日（木）の7時間目に、咲江レディスクリニックの院長であり、思春期学会や性教育協会の会員としても活動されている丹羽咲江先生を講師としてお招きし、1. 2年生を対象に「恋をしても していなくてもぜひ知ってほしいこと」というタイトルで保健講話をしていただきました。

まず最初に妊娠の仕組みや人が誕生するまでの過程を、3D動画を視聴しながら学びました。「精子と卵子が出会い、人が誕生するまでには様々な過程があり、自分の存在は奇跡であるから自分を大切に、自信をもって生活してほしい。」という先生からのメッセージはとても印象的でした。

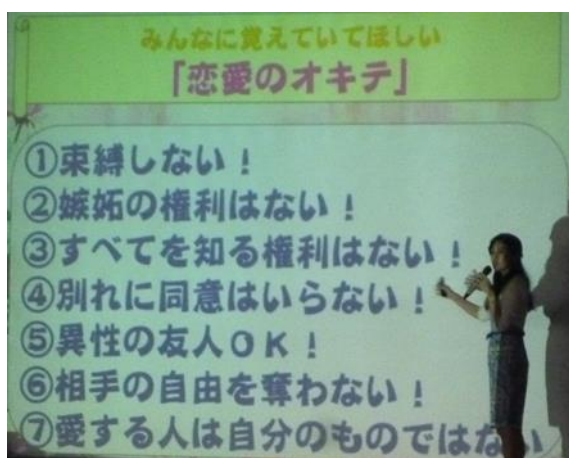
次に、性感染症はどれほどうつりやすいものかを模擬実験を通して学びました。数名の生徒と、病原体役の先生が舞台上上がり、コップに入った水をやり取りする中で、もともとは一人しかもっていなかった病気がどれほど広がりやすいかを実証しました。その後、避妊の方法や、DVについて学び、自分を守るため、また、パートナーを守るために、性についての正しい知識と行動が必要であることを教えていただきました。



模擬実験中・・・



→その結果 なんと7割の人に感染拡大！



自分を守る！相手を守る！
性に対する正しい理解を！！



保健委員長よりお礼の言葉